



思齊のしせい

大阪府立思齊支援学校 支援室だより
臨時コラボ号 令和3年9月10日
支援室・研究部

今回は支援室と研究部との臨時コラボ号です！今年度は研究部と支援室が協力をし、7月30日（金）に夏季公開講座を開催しました。例年とは異なり、新型コロナウイルス感染症対策のため、初めてZoomでの実施となりました。

以下のテーマ内容で研修を行いました。

- ・三木裕和先生 「障害のある子どもたち—その主体性を生かす学校教育とは」
- ・本校各学部主事「各学部の概要」
- ・支援室 リーディングスタッフ「地域支援相談の取り組みについて」

今号は研究部部長 板屋先生と一緒に研修について振り返っていきます。

三木裕和先生「障害のある子どもたち—その主体性を生かす学校教育とは」

研修のテーマでもある「主体性」とは何でしょうか？主体性は辞書によると、自分の意志・判断で行動しようとする態度とあります。

障害がある子どもの主体性を生かすために、子どものエピソードを交え具体的にお話してくださいました。

★ツヨシくんの絵★

三木先生が見せてくれた、ツヨシ君の絵。修学旅行で訪れた「まきばの宿」での思い出を描いた絵でした。

いつもは好きなキャラクターを描くツヨシくんですが、修学旅行の後から、修学旅行の思い出を描き始めました。楽しい体験を通して、ツヨシくんに変化があったのです。楽しい思い出を描きたい、他者と共有したいという動機が、主体的な行動へとつながっていきました。



★ほめることについて★

子どもをほめる。この行為は、私たち教員が日々行っていることだと思います。しかし二分的自己評価の時期にいる知的障害がある子どもには、ほめることも十分に配慮をしなければいけません。

「二分的評価」とは？ 発達の扉（上）白石正久著で二分的評価についてこのように記述されています。

対比的認識が獲得され始める、2歳の後半になると単に比べることがわかるようになるというだけではなく、「できたか—できないか」「これでいいのか—これではいけないのか」という評価に過敏になってきます。だから、相手の目や表情がとても気になるのです。——…ことに、描く、作るなどの手の活動は「できたか—できないか」「これでいいのか—これではいけないのか」が自分でもわかり、他者から評価されるだけに、つらいことも多いのです。

「ほめて育てる」ことが推奨されていますが、「他者からどう評価されるか」に過敏となっている子どもに対してほめると、評価から抜け出せない、いつまでも二分的評価のステージのままにいてつながる可能性もあります。子どもにとって手ごたえがないことを「ほめる」ことで「ほめる」が手段になってしまう。実際の子どもの事例を出して、二分的評価にいる子どもが形成的自己評価へとステージを移行していく様子をお話ししてくださいました。

リーディングスタッフ 「地域支援相談の取り組みについて」

- ・地域支援相談について地域の学校園の先生方に広めて、連携していきたい。
- ・思斉支援学校の中でも、本校の地域支援と校内支援を担う支援室とリーディングスタッフがどのような取り組みを行っているか知っていただき、校内支援を活用してもらいたい。

この2つの目的でお話をしました。校内支援相談の事例紹介では、実際に使用した「問題となる行動の機能分析 (Motivation Assessment Scale)」を紹介しました。もう少しこのアセスメントについて知りたいというお声をいただいたので、補足説明をします。

問題となる行動の機能分析 (Motivation Assessment Scale)

- ・ 行動の機能(目的)を分析する。
- ・ 行動の機能は「自己刺激」「逃避」「注目要求」「物や活動の要求」に分けられる。



問題となる行動の機能を分析し、その行動の機能を別の有効なコミュニケーション機能に置き換える指導を行う。

(例) 喉が渇くと、冷蔵庫の扉をガンガン叩く子ども。

お茶が飲みたいということを伝えるために叩くという行動から、適切な方法「お茶が飲みたい」というジェスチャーや絵カードに置き換えていく。

MASの項目例

3 下記の設問について、記入の方法を参考にして教えてください。

記入の方法 … 問題となる行動について、以下の16の設問に該当する答えの番号を、下の評定基準の中から選んで空欄に記入してください。

0	1	2	3	4	5	6
全くない	ほとんどない	時々ある	ある時とない時が半々	たいていある	ほとんどいつもある	いつもある

1	その行動は、長い時間(例えば何時間も)誰も対応せずに放っておくと、いつまでも繰り返し起こりますか?	
2	その行動は、あなたが難しいことを要求すると起こりますか?	
3	その行動は、あなたが部屋で他の人に関わっているときに起こるようですか?	

MASだけで、機能を判断するのではなく、実際の子どもの様子を観察し、情報を組み合わせて総合的に見ていくことが大切です。

MASが気になる方はインターネットで「MASアセスメント」と検索してください!

◎地域の学校園の先生方へ…

夏季公開講座で行った研修は、校内だけではなく、地域の学校園にも公開します。事前に配信希望をとっていただきましたので、希望される学校園にはYouTubeで配信します。希望の締め切りは終わっていますが、この「思斉のしせい」を読んで、研修の内容に興味を湧いた先生!!まだ間に合います!もし、希望される場合は9月17日までにFAXで夏季公開講座配信希望とメールアドレスを記載し送ってください。

思斉支援学校 FAX 06-6951-4715 板屋宛